

「一人ひとりが輝く元気な学校 ふるさと 赤阪小学校」

「のびのび ～社会を生き抜く、確かな学力作り～」

「いきいき ～豊かな心、たくましい人づくり～」

「しっかり ～魅力ある教育環境づくり～」

千早赤阪村教育大綱(第2期)・令和6年度 千早赤阪村教育方針より

千早赤阪村立赤阪小学校
第37代校長 薦 亜紀朗(つた あきら)



「一人ひとりが輝く元気な学校 ふるさと 赤阪小学校」というのが本校のキャッチフレーズで、職員室や学校のあちらこちらにも掲示されています。

歴史あるこの赤阪小学校で教頭職3年の経験を経て昨年度から校長職を務めております。「一人ひとりが輝く」ために、本校のすべての子どもたちにとって学びやすい赤阪小学校であることを大切に、そしてわがふるさと千早赤阪村に愛着と誇りをもてる子どもたちであってほしいと願い、次ページのように今年度の教育目標を設定しました。3つの重点目標について、実現のために教職員とともに努力してまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



令和6(2024)年度 教育目標

千早赤阪村立赤阪小学校
校長 薦 亜紀朗

本校のキャッチフレーズ

「一人ひとりが輝く元気な学校 ふるさと 赤阪小学校」

めざす子ども像

「強く」・「正しく」・「朗らかに」

元気な子 考える子 やさしい子 根気よく取り組む子 手伝う子 工夫して学ぶ子

令和6(2024)年度重点目標

① のびのび ～社会を生き抜く、確かな学力づくり～

『生活科・総合的な学習の時間の教育計画と連動したカリキュラム・マネジメント』

◇基礎的な知識・技能の獲得があってこそその思考・判断・表現力の育成。基礎・基本の学びをねばり強く続け、望ましい学習・生活習慣の定着をめざす。ユニバーサルデザイン【UD】に基づく「授業づくり」で、支援教育の推進も含めすべての子どもが学びやすい赤阪小学校をめざす。

◇目的意識や必然性を大事にし、児童が知識・技能を生かし、思考・判断・表現する授業づくり。考えを書いたり話したりするなどして明確に表現できる力を児童につける。

◇生きて働く力を、有用感をもって生活に生かせる場づくりとして、行事や特別活動等を工夫。

◇学年合同授業の増加など、少人数、小規模のメリットを生かした教育活動を展開。

② いきいき ～豊かな心、たくましい人づくり～

『学校教育・学校生活全般で、自ら思考・判断・表現する児童の育成』

◇相手意識をもって考え、自分の言葉で発信できる学習、体験の場の充実。

『相手意識をもち、多様性を理解しながら社会の中で自分らしく生きるための力の育成』

◇協働的な学びのある授業と学校行事・生活を結びつける、カリキュラム・マネジメントの推進。

◇集団や社会で課題を乗り越え、ともにより良く生きていくために、一定の規範を大事にしながら人権を尊重し合って協力し、相手を思いやる気持ちを育てる。

『ねばり強さやたくましさに価値を見出す児童の育成』

◇運動会やかけ足運動といった行事を通して身につける体力的な強さだけでなく、何ごとにも本気で全力で取り組む姿勢を大切にする。運動以外の達成課題に対してもポジティブにとらえ、乗り越えて自信をつけ、成長しようという気持ちを育てる。

③ しっかり ～魅力ある教育環境づくり～

『子どもたちにとって安全・安心な学校づくりを進める教職員組織づくり』

◇子どもたちのことをより丁寧に考え組織的に対応できるように、教職員が心の余裕をもって働けるゆとりも作るため、教育活動や業務の精選を行う。その目的や意図について理解を得られるよう積極的に発信する。保護者・地域と双方向性のあるコミュニケーションを大事にしながら、人と人とのつながりが子どもたちの安心感を生む「朗らかな」学校に。

『「地域学校協働活動」の推進』

◇「子ども育みボランティア」の活動についてより一層の支援をお願いし、地域のもつ温かく大きな力を本校教育に生かせるよう、組織体制を整えることをめざす。

◇郷土である大阪府唯一の村、千早赤阪村に愛着と誇りをもつ子どもたちを育てるために、歴史学習、自然、名所、旧跡に親しむなど郷土を題材にした学習を積極的に行う。